

# シルバーだより 柏崎

(題字は故今井市長)

第100号 発行日 平成23年5月1日

発行 (社)柏崎市シルバー人材センター  
〒945-0032  
柏崎市田塚3丁目11番30号  
TEL (0257) 24-2148(代)  
FAX (0257) 22-2438

編集 同上 広報部会

印刷 (株)小田

登録会員数 1,221人 男738人 女483人 4月13日現在

## よしやぶ川の桜



## 主な目次

22年度第2回定期総会兼研修会	2
理事会だより	2
中長期計画について	3
女性会員交流会	3
安全推進委員及び職群班合同会議	3
シルバー豆知識	3
いきいき就業体験	4
介護保険事業	4
地区の動き	5
「シルバーだより柏崎」	
100号を記念して	6
「思い出は尽きない」	6
「柏崎市シルバー人材センター」紹介	7
「ワークプラザ柏崎」紹介	7
23年度第1回定期総会案内	8
年間行事予定	8
23年度シニアワークプログラム事業計画	8
「やまゆり通信」	8
就業相談室	8
各種お知らせ	8

## (社)柏崎市シルバー人材センター定期総会兼研修会



定期総会 (3月26日)



定期総会 (3月26日)

平成三年度  
第二回定期総会兼研修会  
開催される

平成三年度、第二回定期総会兼研修会が三月二十六日(土)午後一時から市民プラザで開催されました。

出席者二八六名、委任状五〇一名で、会員総数一、二五九名の六三%に達し、総会は成立しました。今回は会場を海のホールから、階段椅子のある波のホールに移して、開催されました。

千原理事長挨拶



これまでの地震の比ではない、大変な地震が起きました。この東日本大震災では三陸地方各地のシルバー人材センターは大きな被害を受け、人命が失われています。被害の内容はいまだ定かになっておりません。

これまで中越地震、中越沖地震時に、当シルバー人材センターがお世話になったお返しとして、本日義援金の募集をこの会場で行っています。よろしくご協力お願いいたします。



さて来年度予算は、国からの補助が大幅に減らされ、なんとか柏崎市補助金は昨年並みにしていただきましたが赤字予算の編成となりました。

今、何をやらなければならぬかを皆さんにも考えていただき、赤字予算は単年度のみにならなければなりません。よろしくご協力お願いいたします。

議事

議長に、田中諤司氏(枇杷島地区)を選出しました。予定された三議案を事務局からの提案説明を受けて、審議を行いました。いずれの議案も提案通り承認されました。

研修会

「高齢者の交通安全」の演題で柏崎警察署交通課、課長大島真一氏より講演をいただきました。

交通事故には二つの責任がある。

○刑事責任 懲役または罰金

○行政責任 免許取消または停止(点数制)

○民事責任 損害賠償

交通事故を起こすと失業、更には家庭崩壊に至ることもある。

県内や柏崎市内の交通事故の状況等プロジェクトで解説され、非常に分かりやすい講演をいただきました。



理事会だより

(第二回) 三月四日(金)

一、議題

○入退会者承認(十月〜一月) 入会二五人、退会五六人、三一人減

○二年度補正予算案について  
○二月、三月の見込について  
○三年度事業計画及び予算について

右、事務局の提案通り承認。

二、その他

○三月二十六日の予算総会について  
研修の部では柏崎市警察署交通課長より講演がある。  
演題「高齢者の交通安全」

○経営革新委員会(運営委員会、中長期計画委員会)について

中長期計画(平成三三年度〜二八年度)について、原案を審議、承認。

○その他



## 中長期計画について

平成十五年度に策定した八ヶ年の中長期計画はこの三月で終ることとなり、新たに中長期計画を策定し、三月二十六日の総会において、会員の皆さんに配布しました。

今回の中長期計画は平成二三年度～二八年度の六ヶ年計画です。

平成二十年のリーマンショックを引き金に世界経済も日本経済も不況の極限まで落ち込み、景気の低迷をいまだに引きずっています。

このような景況の中で中長期策定委員会を立ち上げ、昨年の九月より策定に入り検討を繰り返し、このほど完了しました。今回の中長期計画書は経費節減のため製本依頼はせず、印刷して綴じたものです。

「中長期計画」は、当柏崎市シルバー人材センターの運営計画の指針及び目標を示したもので、本方針に従って、さらなる飛躍を図っていく事になります。

「段階的到達目標」を常に念頭において、これからの運営を進め、事業実績の成果を上げていかなければなりません。

## 女性会員交流会

「女性会員交流会」に参加して

女性部 小林百合子

三月十八日、ワークプラザで女性会員の交流会が催されました。



エアロビクスの先生からのご指導で、年齢にあった体操で体をほぐし、楽しむことができました。綾小路きみまろに負けない程に、ユーモアたっぷりの話や動きに二時間があっという間に過ぎてしまいました。

自分では大丈夫と思っていた体に「あ、少しおかしいな」と思う所がある時に、腰・肩・足など筋肉の落ちやすい所のストレッチや、

ゴムバンドや椅子などを使つての体操も教えていただきました。

三四名の参加で知っている方も少なかつたけれども、皆さんのはつらつとした顔と、何よりも素敵な笑顔を見せていただいて、大震災のつらい時でしたが、参加してよかったと思います。

ありがとうございました。

## 安全推進委員及び職群班合同会議(安全研修)開催

三月三十日、ワークプラザ柏崎にて安全部会主催で開催され、二百名の参加者が来場しました。

まず、理事長による挨拶、次に安全部会の進行で早津部会長より二年度の事故状況報告や部会員より県内の

パトロール報告が行われました。

DVDによる生活習慣病の予防対策の紹介もされました。



## シルバー豆知識

知っておいて欲しいこと

その四十

## 東日本大震災の対応(募金)

三月十一日(金)午後二時四十分ごろ、三陸沖を震源とするマグニチュード九・〇の巨大地震が発生しました。

国内史上最大で、被害が甚大であった三陸地方の被災地では、不便で不安な日々を過ごしておられる人々が数十万人おります。

柏崎市シルバー人材センターも全国のシルバー人材センターから、義援金と多くの励ましをいただきました。今回の被災地にもたくさんの方のシルバー人材センターがあります。恩返しのもりで、今できること、これからできることを考えたいと思います。

その第一段階として、義援金の募金を行います。

東日本大震災募金箱の設置箇所

\*シルバー人材センター

\*ワークプラザ柏崎

皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

いきいき  
**就業体験**  
私達の仲間はいろいろなところで活躍しています。会員皆様の生の声を掲載いたします。

**ヘルパーの資格を得て**

剣野地区 小川 勝代



していました。

私はシルバー会  
員になって三年に  
なります。前の職  
でもヘルパーを

念願だった二級ヘルパーの資格もシニア講座で取ることができました。福祉用具専門員の講座はヘルパーの基本講座でした。介護保険や実技では、新しいケアの方法や福祉用具などの知識を得たことで、身体介護のお客様に本当に役立ちました。訪問に際し、いつも気になることがあります。それは、お客様がお変わりなくいらっしゃるかどうかです。

訪問を待つて楽しみに快く迎えてくださると嬉しくなり、「ありがとうございます」と言われると温かいものがこみ上げてきます。一日の僅かな時間を、お客様と一

緒にたのしく笑顔で話しながらケアを行っています。

多くのお客様と出会うことで、様々なことを学び、教わりました。常に相手の立場になり、そして信頼される立場になって、思いやりのある心遣いをして、笑顔で頑張ります。

これからも、初心を忘れず知識を高めながら訪問して、ケアに努めたいと思っております。

**介護を通じて地域の輪を広げよう**

比角地区 仲野キミエ



います。

シルバー会員となり、ホームヘルパーをして三年目を迎えようとして

高齢化社会に向けて、健康で元気に暮らすことができる…とは限らないと思う。今こそ自分で何ができるか、相手の立場になって、考えられる思いやりを大事にして、ホームヘルパーの仕事をやっています。

利用者の方から「あなたが来てくれて嬉しいよ、良かった、ありがとう」と聞くと、お互い笑顔に

なり顔の表情がパーと明るくなる。

大変な仕事で、戸惑うこともたびたびあり、困ったこともいろいろありますが、感謝の気持ちと同時に喜びもわきます。やりがいのある仕事だと感じています。

自分自身も年を取り、高齢化社会に向けて何が起きるかわからないこの世の中で、縦のつながりはもちろん、横のつながりも大事に隣近所、お互いに親しく声を掛け合って、いきいきと元気に過ごせることだと思います。

一歩踏み出したいと思っています。

**介護保険事業**

事務局

シルバー人材センターでは、介護保険事業として、訪問介護（ヘルパー）と居宅介護支援事業を行っています。

ヘルパー事業に関しては月平均九〇件の利用者さんの自宅に約六〇名のヘルパーが訪問し、生活援助や身体介護のサービスを行っています。

居宅介護支援事業では、四名のケアマネジャーが月平均一五〇名

の利用者の居宅サービス計画書を作成するとともに、心と体のケアを目的に、朝から晩までとび回っています。二つの事業とも当センターの心のこもったサービスが利用者さんに喜ばれています。

三月二六日午前中、ヘルパー全体研修会を開催しました。当日はケアマネジャーも参加し、事例検討や災害の際の対処法、介護記録やモニタリングの書き方などを勉強しました。

最後に茶話会を開いて、ヘルパー同士の親睦を深め、研修室は活気で満ち溢れました。



## 松浜地区



## 地区の動き

地区	月日	会場	参加者数
松浜	12月5日	松波会館	25名
西中・中通	12月12日	大家	26名
高田・上条	1月23日	飯塚商店	11名
東部	2月19日	産文	22名
中鯖石	2月21日	中鯖石コミセン	16名
西山	2月27日	村田屋	37名
田尻	3月12日	肉よし	26名

## 高田・上条地区



## 西中・中通地区



## 中鯖石地区



## 東部地区



## 田尻地区



## 西山地区



# よりだより シルバー 柏崎

## 百号を記念して

先々号の九八号では当センターの創立三十周年記念特集号を発行したが、今号で会報「シルバーだより柏崎」は百号となった。

これを機にこれまでの会報の足跡を振り返ってみた。

当センターは当時の今井市長の肝いりで、昭和五三年、設立の意向が示され、その二年後の五五年十月十五日に「柏崎市高齢者事業団」の設立総会が開催された。

そして会報は、五七年に初刊第一号が五月一日に発行された。

創刊から第十号までは年二回の発行であったが、十一号からは年三回発行となった。そして平成四年の二六号から年四回（二月一日、五月一日、八月一日、十一月一日）の発行になり、平成二十年の第九二号まで続いたが、平成二十一年九三号から、経費節減のため年三回になって現在に至っている。

会報紙面の構成であるが、第四七号までは、B5版であったが、第四八号から、A4版となった。

頁数はB5版時代は記事の投入量により十〜十四頁と一定でなく、創立十五周年特集号（第四一号）では二十頁仕立てであった。A4版となった四九号からは、八頁仕立てに決め、今日に至っている。

また印刷であるが、第三十号から一部カラーを取り入れ、二色刷り、三色刷りと進み、第六九号から全面カラー刷りとなった。しかし、ここに至って印刷も経費節減で白黒印刷に変更している。

記事の内容であるが、第四十号くらいまでは行政関係者（市長、助役、議長、他）が巻頭を飾ることが多く、当時のシルバー人材センターに対する配慮が推し計られる。

表紙であるが第四八号から現在のものに変わっている。今回、これを機に意匠変えも考えたい。

最後になって恐縮であるが、歴代広報部会長を記し、謝意を表す。

- 初代 剣持隼一郎氏
- 第2代 中西 茂一氏
- 第3代 大矢 保三氏
- 第4代 柳 喜八郎氏
- 第5代 清水 敏勝氏

## 祝 百号

思い出は尽きない

前広報部会長 柳 喜八郎

私が評議員として事業部に所属していたある年の三月、当時理事を務めていた大矢保三広報部会長から「今度広報部に移って、仕事をしたい」と誘いを受けた。私は第六四号から広報に携わった。

「いきいき就業体験」の取材で、柏崎墓園を訪ねたのが最初だ。次の号では、駅前駐車場を訪ねて写真撮影、編集後記も書いた。

編集の作業は、原稿が揃わないときは困ったが、集まったものを読むたびに、会員の活躍や動向が目に見えてきて、中には旧知の存在を発見できたりして、実に楽しかった。

楽しいと言えば、F部員の設定した新年会を鏡町の某酒房で開催して、歓を尽くしたことがある。

広報部会は六年務めたが、自身は歳を重ねるごとに、足腰が弱くなり、行動、思考も鈍ってきたので平成十九年に部会を去ることにしたのだった。

さて、一年に四回発行の「シルバーだより」が平成二十一年から三回になった。経費節減の一策として実施されているようだが、今後今までの四号発行分の内容を三号に集約し、機関紙、広報紙としての体裁を保ちつつ、さらに工夫を凝らして紙面を作成してほしいと思う。

例えば、印刷活字を一ポイント小さくする。増ページはしない。第一面の写真は小さくする等々。広報部面々の手腕発揮の見せ所である。頑張ってください。



「シルバーだより」は月に二〜三回の会合を経て、三ヶ月ほど後に発行する。編集方針を決めた後、寄稿、投稿の依頼から始まって、取材と写真撮影、集まった原稿の点検、補筆、ゲラ刷り、割付、校正等の仕事を分担して処理をする。



## 「柏崎市シルバー人材センター」 紹介 第一回

会員の皆さん、自分が所属している「柏崎市シルバー人材センター」の全体像をご存知ですか。これまで、「シルバーだより柏崎」では、このような企画はありませんでしたが、しばらくは当センターの組織や事業内容等を紹介する記事を連載いたします。

具体的に当センターの中身に触れる前に、シルバー人材センターとは、何かということを考えてみたいと思います。

『シルバー人材センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に定められた、地域毎に一つずつ設置されている高齢者の自主的な団体で、臨時的、短期的な仕事を、請負、委任の形式で行う公益社団法人である。就職あっせんのための組織ではない。』

その運営は、公益法人社団として、会員である地域の高齢者が自主的に行っている。会の役員(理事等)は会員の互選により決まる。

国、市町村により運営されているわけではない。

会員は概ね六十歳以上の定年退職者、家業の一線を退いた人等が対象。運営費の一部は厚生労働省が各都道府県のシルバー人材センター連合会に対して補助し、連合会から各センターに配分される。』



「柏崎市シルバー人材センター」は現在、公益社団法人へ移行前の特別民法法人です。今年、この移行申請を行って、平成二十四年度から公益社団法人になる予定です。

(次号へ)

## 「ワークプラザ柏崎」 紹介 その一

ワークプラザ柏崎は、柏崎勤労者総合福祉センターとして、働く人たちのためのコミュニケーション・スペースとして雇用促進事業団より(独立行政法人雇用・能力開発機構の前身)平成五年に建造開設されました。

(社)柏崎市シルバー人材センターは、平成五年の開館時から柏崎市より管理を委託されております。

雇用促進事業団廃止に伴い、柏崎市へ施設が譲渡されて、平成十六年に指定管理者制度になってからも、第一期(平成十六年～二十年)、第二期(平成二十一年～二十五年)ともに管理者指定を受けています。

市民の皆さまをはじめ、県内外の方にも幅広くご利用いただいています。

施設は多目的ホール、大小会議室、講習室、研修室、和室など各種イベントの開催や講習、研修などができます。

会場の利用申し込みは電話で行

いますが、各室の空き状況については「ワークプラザ柏崎」のホームページにて確認できます。

今回は「ワークプラザ柏崎」の紹介、第一回目ですが、第二回目以降、各室の詳細や利用料金、催し物などについて順次紹介して参ります。

(次号へ)



## 平成23年度の主な行事予定

6月	第1回定期総会
7月	安全就業強化月間
秋	日帰り旅行
10月	事業普及啓発月間
2月	会員ふれあい交流会
3月	第2回定期総会

## 定期総会のお知らせ

平成23年度の第1回定期総会を開催します。

- 日時 **6月10日(金)**  
午後1時より
- 会場 **市民プラザ 2階**

詳細は、別紙折込チラシをご覧ください。

「えんま通り再開」に伴う店舗建て替えのため、すぐ向かい側「中村せともの店様隣り」に移転し、仮店舗で営業して約半年が経ちました。

「やまゆり」では、会員のみならずにもご協力いただき、新店舗開

### やまゆり通信

### シルバーふれあいサロン

## 平成23年度シニアワークプログラム事業計画

講習月	講習名	募集人数
7月～	ホームヘルパー2級(資格取得)講習	30
7月～	農業支援スタッフ講習	30

※全講習が会員だけでなく、一般の方も受講可能です。  
5月中旬以降にパンフレットができます。シルバー事務所・商工会議所・ハローワークに置いておきますので、条件をよくご覧の上、お申し込みください。

### 開設予定日

5月26日 6月23日  
7月28日 8月25日

未就業の方々や、現在の就業に満足できない方々のお気持ちを聞き、より良い就業ができるような相談日を毎月、第四木曜日十三時～十六時まで開設いたします。

ご希望の方は、必ず事前に電話をしてください。

### 就業相談室開設

店にむけていろんな催しを考えてあります。

前年度から「やまゆり」は直売所として市の直売所マップにも掲載され、漬物の販売も始めました。

市民のみなさんの目にもふれる機会が多くなっていくと思います。

新しいお店の完成はまだ先ですが、会員の皆さんも近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。お待ちしております。

野菜の出品、お店番<sup>みせばん</sup>ボランティアの方も募集しております。お願いでできる方は事務局までご連絡ください。

三陸沖を震源とする巨大地震が三月十一日に発生しました。

この地震により一〇米以上の巨大地震が発生し、三陸沿岸の市や町の建物は根こそぎ波に流され、瓦礫の山と化し、行方不明・死者は三万人を数えようとする大災害となりました。

一方、この大地震と巨大地震は東電、福島原発第一発電所にも襲い掛かり、原発の安全を守る最後の砦となる緊急炉心冷却装置が作動できず、炉心が溶融し、放射能漏れが止まりません。この状況は対岸の火事?.....

(合)井

### 編集後記

シルバーの仕事の紹介、事業の案内  
**テレフォンサービス開設中**  
**電話22-2231番です**

『やまゆり』  
**無料パソコン相談コーナー**  
 毎週、金曜日午後一時より三時まで開いています。お気軽においでください。